

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2023年日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 受付について

各校引率教諭は、9時までに受付をすませること。

引率教諭の受付のない場合は競技者の大会参加は認められない。

3. 招集について

①競技者はプログラム記載の現地集合時間に競技場所に行き、最終招集をうける。

②最終召集にいない競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。

③棄権する場合は、引率教諭が招集開始時間までに本部に申し出ることが望ましい。

④リレー競技に出場するチームは、以下のようにオーダー用紙を提出する。提出後のオーダー変更はできない。

予選については、現地集合開始時間の60分前までに提出する。

決勝については、現地集合完了時間の60分前までに提出する。

4. アスリートビブス（ナンバーカード）について

アスリートビブス（ナンバーカード）は指定されたものを使用し、胸部と背部につけること。

ただし、走幅跳・三段跳に出場する競技者は胸部のみ、走高跳・棒高跳に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。

また、800m以上の種目に出場する競技者は、腰ナンバーカードを招集時に受け取り、右腰につける。

5. 競技について

①この大会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する。

②スターターのコールは、英語（On your marks、Set）で行う。

③セパレートレーン使用の競技は、ゴール後も競技者の安全確保のため自分のレーン（曲走路）を走ること。

④トラック競技とフィールド競技を兼ねている競技者は、トラック競技を優先する。トラック競技に移動する場合は、フィールド審判員にその旨を伝え許可を得ること。

⑤棒高跳については、天候不良の場合、3日目に変更することがある。

⑥投てき練習については、競技開始前に競技役員の指示により行う。（それ以外の投てき練習は一切禁止する。）

⑦ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用してはいけない。

6. 競技の抽選ならびに番組編成について

①予選におけるトラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラム記載の通りとする。

②トラック競技の準決勝・決勝進出者の発表は、アナウンスする。

③トラック競技で同記録の場合、写真判定で着差があれば着順決定する。

④トラック競技のプラスアルファの決定については、同じ組で同記録の場合は前項の③を適用する。

同じ組で着差のない場合、および異なる組での同記録は抽選を行う。

7. 電気計時・写真判定機が作動しなかった場合の措置について

- ① 800 mまでの競技においては、判定可能なレース結果より上位 8 名を選出し、それに判定できなかった組の競技者全員を加えて決勝を行う。（タイムレース決勝方式）
- ② 1500 m以上の競技においては、周回記録員の手動計時をバックアップとして採用する。（非公認）
- ③ 再レースを行なう場合もある。

8. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方、三段跳の踏切板について

走高跳 男子 練習 (1.40)－1.45－1.50・・・1.85～3 センチ刻み

女子 練習 (1.15)－1.20－1.25・・・1.50～3 センチ刻み

棒高跳 男子 練習 (2.20)－2.30－2.40－2.50・・・ 10 センチ刻み

女子 練習 (2.00)－2.10－2.20－2.30・・・ 10 センチ刻み

ただし、天候その他の条件によって変更することがある。

三段跳の踏切板は、砂場から男子 10 m・女子 8 mとする。

9. 競技用具について

① 競技に使用する用具は、原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用ポール、やりについては個人のものを使用することができる。やりは、競技開始時刻の 1 時間前から 45 分前までに検査を行い使用することができる。（ただし、持ち込んだやりについては、その競技者の競技終了まで競技場で預かる。）

② 練習用の個人の用具は、競技区域内に持ち込んではいけない。

10. 競技用シューズについて

① スパイクシューズのピンの長さは 9 ミリ以下とする。ただし、走高跳・やり投は 12 ミリ以下とする。

② 靴底の最大の厚さは、2024 年 10 月 31 日までは以下の通りとする。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20 mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25 mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (800 m未満の種目、ハードル種目を含む)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800 m以上の種目、障害物競走を含む)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
クロスカントリー	25 mmスパイクシューズ または 40 mmノン・スパイクシューズ	競技者はスパイクシューズまたはノン・スパイクシューズ（ロードシューズなど）を履くことができる。スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは25mmを超えてはならない。ノン・スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは40mmを超えてはならない。
道路競技 (競走、競歩)	40 mm	
マウンテンレースとトレイルレース	制限なし	

11. ウォーミングアップについて

競技場内バックストレート側を使用する。競技に支障のないように注意して行う。

12. 表彰について

- ①学校対抗男女別1位に賞状・楯を、6位までに賞状を授与する。
- ②トラックの部・フィールドの部は、男女とも3位までに賞状を授与する。
- ③各種目6位入賞者・チームに賞状（リレー種目は5枚）を授与する。

13. 県大会出場について

- ・各種目6位入賞者（走高跳、棒高跳については6位6名）
シード競技者が6位以内にいる場合は、7位以下から繰り上げる
- ・男子ハンマー投は35m、女子ハンマー投は25mに達している競技者（追加試技3回）
- ・5000m競歩は男子28分、女子33分以内の競技者
- ・シード競技者
女子走高跳 鱒部茜（横須賀）
- ・県大会申し込みは、3日目（5/5）午後、本部室にて受け付ける。
- ・出場を辞退した場合は、上位大会の参加はできない。（シード選手を除く）

14. その他

- ①新型コロナ感染拡大予防のための対策を厳守し、安全に競技を行う。
- ②競技場の開門は8時00分とする。選手の入場は出場する競技の開始2時間前以降とする。
- ③競技中に生じた事故について応急処置はするが以後の責任は負わない。
- ④ごみは各自で持ち帰る。